

この添付文書は、お薬とともに保管し、服用の際には、必ずお読み下さい。

【鼻炎・副鼻腔炎用生薬製剤】

ホノミビスキン®

第2類医薬品

- ◆ ホノミビスキンは、蓄膿症などによる鼻づまりの症状や鼻炎を改善するために考え出された生薬製剤です。
- ◆ ホノミビスキン中のキョウ・キジツ・シャクヤク・レンギョウは鼻腔・副鼻腔内に溜まった膿汁を排泄するように働き、ケイガイ・ジュウヤク・ソウジ・ビャクシは鼻に生じる不快な症状を改善し、シンイ・センキュウは蓄膿症や鼻炎の改善を早めるように働きます。

⚠ 使用上の注意



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 胃腸の弱い人。
- (4) 高齢者。
- (5) 次の症状のある人。

高熱

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感

3. 1ヵ月位(急性副鼻腔炎、急性鼻カタルに服用する場合には1週間位)服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
4. 他の医薬品等を併用する場合には、含有成分の重複に注意する必要がありますので、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

蓄膿症(慢性副鼻腔炎、上顎洞^{a)}化膿症)、急性副鼻腔炎(急性上顎洞炎)、急性慢性鼻カタル^{b)}、鼻茸^{c)}の初期

a) 上顎洞：副鼻腔のひとつです。

b) 鼻カタル：鼻炎のことを示します。

c) 鼻茸：鼻腔や副鼻腔にできるキノコのような突起物(コブ)のことを示します。

用法・用量

次の量を随時注)、コップ半分以上のぬるま湯にて服用して下さい。

注)「随時服用」とは食前・食間(食後2～3時間)・食後のいつ服用してもよいことを指しますが、胃腸の弱い方は食後の服用がよいでしょう。

年齢	1回量	1日服用回数
大人	3カプセル	1～3回
15歳未満10歳迄	2カプセル	
10歳未満5歳迄	1カプセル	
5歳未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 用法・用量を厳守すること。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

成分・分量

本剤9カプセル(3600mg)中

(ケイガイ500mg・レンギョウ500mg)濃縮エキス……100mg

キキョウ2000mg・キジツ1000mg・ジュウヤク1500mg
センキュウ1000mg・ソウジ3000mg・ビヤクシ1000mg } ビスキンサン…3500mg
シャクヤク末1500mg・シンイ末1000mg

添加物として青色1号、赤色3号、黄色5号、酸化チタン、ゼラチン、ラウリル硫酸ナトリウムを含有する。

- ・本剤はエンジ色(キャップ)と黄色(ボディ)の二色のカプセル剤で、その内容物は茶褐色で、味は苦い粉末です。
- ・本剤は天然の生薬を原料としていますので、内容物の色調は多少異なることがありますが、効果に変わりはありません。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)

薬と養生

ホノミビスキンは生薬の特性を活かした生薬製剤ですので、あなたの体質や病状を考慮して正しく服用することが大切です。

また、気持ちの持ち方(気の養生)や食生活(食の養生)に注意することも、病気を治すためには大事なことです。

あなたの病気を早く治すため、お薬の服用に際しては、生薬製剤や養生方法のことをご理解いただいている医師やホノミ漢方会々員の薬局・薬店の先生方とよくご相談下さい。

お問い合わせ先

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、又は下記にお願いします。

剂盛堂薬品株式会社 学術部

電話 073(472)3111(代表)

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

(土、日、祝日を除く)

製造販売元



剂盛堂薬品株式会社

〒640-8323 和歌山市太田二丁目8番31号